

平成28年度 函館市病院事業の経営実績

平成29年6月
函館市病院局

目 次

I 平成28年度の経営状況

- 1 患者数等および収支状況 1～4 ページ
- 2 主な経営指標等 5～6 ページ

II 過去5か年の経営実績

- 1 医業収益（函館病院） 7～8 ページ
- 2 医業収益（恵山病院） 9 ページ
- 3 医業収益（南茅部病院） 10 ページ
- 4 未収金の状況 11 ページ
- 5 医業収益に対する材料費の割合 12 ページ

III （新）改革プラン収支計画との比較

- 1 収支計画と実績の比較 13 ページ

I 平成28年度の経営状況

1 患者数等および収支状況

① 函館病院

入院患者数は、前年度に比べ新規入院患者数（入院件数）が222人減少し、平均在院日数も0.5日短縮したことから、1日平均患者数は24.9人減の420.4人となりました。

精神は医師の減少により27年度から病棟閉鎖しています。

外来患者数は、一般では逆紹介の推進等により前年度に比べ20.6人下回り1,074.3人、精神では前年度に比べ0.4人上回り15.4人となっています。

区分	H27決算 A	H28決算見込B	差引B-A
入院患者数（一般）	445.3人/日	420.4人/日	△ 24.9人/日
新規入院患者数	11,442人	11,220人	△ 222人
年間平均在院日数	13.2日	12.7日	△ 0.5日
外来患者数（一般）	1,094.9人/日	1,074.3人/日	△ 20.6人/日
〃（精神）	15.0人/日	15.4人/日	0.4人/日
病床利用率（一般618床）	72.1%	68.0%	△ 4.1%
〃（結核、感染症、休床除く）	86.1%	85.2%	△ 0.9%

※函館病院病床数 一般618床（一般病床582、結核病床30、感染症病床6）、精神50床（休床）
 [一般病床の休床：H27末582床中69床、H28末582床中110床]

平成28年度の決算見込は、当年度資金過不足額が3億3,663万1千円の赤字となりましたが、これは、一般会計から会計基準の改定により生じる資金不足額への対応として6億6,225万9千円の特殊な繰入（特別利益）があったことによるもので、これを除くと9億9,889万円の赤字となっており、対前年度比で9,636万4千円のマイナスとなりますが、改革プランに対しては1億9,811万円のプラスとなっています。

なお、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなっていることから、特別損失に減損損失75億508万3千円、特別利益に減損損失に対応する長期前受金戻入3億6,906万5千円を計上しています。

（単位：千円）

科目		H27決算A	H28決算見込B	差引B-A	H28改革プランC	差引B-C
収益	医業収益	11,507,980	11,102,800	△ 405,180	11,254,000	△ 151,200
	外来収益	4,358,992	4,043,123	△ 315,869	4,268,000	△ 224,877
	その他	214,683	210,145	△ 4,538	245,000	△ 34,855
	一般会計繰入金	309,179	308,753	△ 426	313,000	△ 4,247
	医業外・学院収益	2,234,890	2,272,537	37,647	2,298,000	△ 25,463
	（うち一般会計繰入金）	(937,159)	(908,515)	(△ 28,644)	(912,000)	(△ 3,485)
	特別利益	214,176	1,301,364	1,087,188	1,274,000	27,364
（うち一般会計繰入金）		(662,259)	(662,259)	(662,000)	(259)	
（うち減損損失対応分）		(369,065)	(369,065)	(371,000)	(△ 1,935)	
計		18,839,900	19,238,722	398,822	19,652,000	△ 413,278
費用	医業費用	7,629,340	7,665,555	36,215	7,871,000	△ 205,445
	材料費	5,584,370	5,049,167	△ 535,203	5,376,000	△ 326,833
	経費	3,615,411	3,481,437	△ 133,974	3,659,000	△ 177,563
	その他	1,473,812	1,652,240	178,428	1,641,000	11,240
	医業外・学院・予備費	1,274,837	1,226,981	△ 47,856	1,247,000	△ 20,019
	特別損失	10,307	7,505,226	7,494,919	6,931,000	574,226
	（うち減損損失）		(7,505,083)	(7,505,083)	(6,707,000)	(798,083)
計		19,588,077	26,580,606	6,992,529	26,725,000	△ 144,394
経常損益		△ 952,046	△ 1,138,022	△ 185,976	△ 1,416,000	277,978
純損益		△ 748,177	△ 7,341,884	△ 6,593,707	△ 7,073,000	△ 268,884
損益勘定留保資金等		572,803	7,845,224	7,272,421	7,398,000	447,224
小計		△ 175,374	503,340	678,714	325,000	178,340
資本的収入		2,493,131	1,028,831	△ 1,464,300	1,001,000	27,831
（うち一般会計繰入金）		(858,081)	(994,081)	(136,000)	(994,000)	(81)
資本的支出		3,220,283	1,868,802	△ 1,351,481	1,861,000	7,802
資本的収支差引		△ 727,152	△ 839,971	△ 112,819	△ 860,000	20,029
当年度資金過不足額a		△ 902,526	△ 336,631	565,895	△ 535,000	198,369
一般会計繰入金 合計		2,104,419	2,873,608	769,189	2,881,000	△ 7,392
うち特殊な繰入金 b			662,259	662,259	662,000	259
a-b		△ 902,526	△ 998,890	△ 96,364	△ 1,197,000	198,110

② 恵山病院

入院患者数は、他病院からの転院患者の減少等により、前年度に比べ0.8人下回り43.4人となっています。

外来患者数は、地域の人口減少の影響等により、前年度に比べ5.9人下回り57.9人となっています。
病床利用率は、前年度に比べ1.2%下回り72.4%となっています。

区分	H27決算 A	H28決算見込B	差引B-A
入院患者数	44.2人/日	43.4人/日	△ 0.8人/日
外来患者数	63.8人/日	57.9人/日	△ 5.9人/日
病床利用率	73.6%	72.4%	△ 1.2%

※恵山病院病床数 療養60床

平成28年度の決算見込は、当年度資金過不足額が3億8,004万7千円の黒字となりましたが、これは、一般会計から平成27年度までの資金不足額および会計基準の改定により生じる資金不足額への対応として3億6,066万4千円の特殊な繰入（特別利益）を、また、改革プランに基づき、地域医療確保に要する経費として、恵山・南茅部病院における資金不足額を当年度から一般会計が補助することとし、医業外収益で3,298万1千円を繰入れたことによるもので、これらを除くと1,359万8千円のマイナスとなりますが、対前年比では5,927万6千円のプラス、改革プランに対しては2,440万2千円のプラスとなっています。

(単位：千円)

科目		H27決算A	H28決算見込B	差引B-A	H28改革プランC	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	359,167	327,351	△ 31,816	334,000	△ 6,649
	外来収益	89,154	101,789	12,635	103,000	△ 1,211
	その他	12,957	14,584	1,627	11,000	3,584
	一般会計繰入金	17,691	37,991	20,300	38,000	△ 9
	医業外収益	146,480	186,627	40,147	191,000	△ 4,373
	(うち一般会計繰入金)	(128,061)	(166,231)	(38,170)	(171,000)	(△ 4,769)
	特別利益	1,590	362,700	361,110	363,000	△ 300
	(うち一般会計繰入金)		(360,664)	(360,664)	(361,000)	(△ 336)
	(うち減損損失対応分)					
	計	627,039	1,031,042	404,003	1,040,000	△ 8,958
費用	医業費用					
	給与費	418,286	419,748	1,462	380,000	39,748
	材料費	57,562	56,717	△ 845	57,000	△ 283
	経費	123,354	147,881	24,527	194,000	△ 46,119
	その他	63,028	61,246	△ 1,782	65,000	△ 3,754
	医業外費用	22,151	24,178	2,027	25,000	△ 822
	特別損失	244		△ 244		0
	(うち減損損失)					
	計	684,625	709,770	25,145	721,000	△ 11,230
経常損益		△ 58,932	△ 41,428	17,504	△ 44,000	2,572
純損益		△ 57,586	321,272	378,858	319,000	2,272
損益勘定留保資金等		△ 3,306	72,359	75,665	56,000	16,359
小計		△ 60,892	393,631	454,523	375,000	18,631
資本的収入		38,125	19,937	△ 18,188	20,000	△ 63
	(うち一般会計繰入金)	(17,425)	(19,937)	(2,512)	(20,000)	(△ 63)
資本的支出		50,107	33,521	△ 16,586	34,000	△ 479
資本的収支差引		△ 11,982	△ 13,584	△ 1,602	△ 14,000	416
当年度資金過不足額a		△ 72,874	380,047	452,921	361,000	19,047
一般会計繰入金 合計		163,177	584,823	421,646	590,000	△ 5,177
うち特殊な繰入金 b			393,645	393,645	399,000	△ 5,355
a-b		△ 72,874	△ 13,598	59,276	△ 38,000	24,402

③ 南茅部病院

入院患者数は、一般では前年度と同じ22.8人となっています。
 また、療養では前年度に比べ2.0人下回り11.1人となっています。
 外来患者数は、地域の人口減少はあったものの、前年度に比べ3.0人上回り93.5人となっています。
 病床利用率は、前年度に比べ3.5%下回り57.4%となっています。

区 分	H27決算 A	H28決算見込B	差引B-A
入院患者数（一般）	22.8人/日	22.8人/日	0.0人/日
〃（療養）	13.1人/日	11.1人/日	△ 2.0人/日
外来患者数	90.5人/日	93.5人/日	3.0人/日
病床利用率	60.9%	57.4%	△ 3.5%

※南茅部病院病床数 一般37床、療養22床

平成28年度の決算見込は、当年度資金過不足額が4億8,462万5千円の黒字となりましたが、これは、一般会計から平成27年度までの資金不足額および会計基準の改定により生じる資金不足額への対応として4億6,796万7千円の特殊な繰入（特別利益）を、また、改革プランに基づき、地域医療確保に要する経費として、恵山・南茅部病院における資金不足額を当年度から一般会計が補助することとし、医業外収益に7,329万4千円を繰入れたことによるもので、これらを除くと5,663万6千円のマイナスとなりますが、対前年比では5,637万円のプラス、改革プランに対しては636万4千円のプラスとなっています。

なお、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなっていることから、特別損失に減損損失3億686万4千円、特別利益に減損損失に対応する長期前受金戻入1,224万8千円を計上しています。

（単位：千円）

科目			H27決算A	H28決算見込B	差引B-A	H28改革プランC	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	264,517	252,221	△ 12,296	266,000	△ 13,779
		外来収益	119,725	119,060	△ 665	125,000	△ 5,940
		その他	9,233	9,743	510	10,000	△ 257
		一般会計繰入金	17,691	37,991	20,300	38,000	△ 9
	医業外収益		108,696	208,789	100,093	197,000	11,789
	（うち一般会計繰入金）		(102,291)	(200,870)	(98,579)	(189,000)	(11,870)
	特別利益		3,860	484,854	480,994	484,000	854
（うち一般会計繰入金）			(467,967)	(467,967)	(468,000)	(△ 33)	
（うち減損損失対応分）			(12,248)	(12,248)	(12,000)	(248)	
計		523,722	1,112,658	588,936	1,120,000	△ 7,342	
費用	医業費用	給与費	292,168	281,552	△ 10,616	281,000	552
		材料費	84,628	77,170	△ 7,458	84,000	△ 6,830
		経費	201,262	200,462	△ 800	216,000	△ 15,538
		その他	30,571	32,138	1,567	32,000	138
	医業外費用		17,504	16,902	△ 602	18,000	△ 1,098
	特別損失		23	306,864	306,841	288,000	18,864
	（うち減損損失）			(306,864)	(306,864)	(288,000)	(18,864)
計		626,156	915,088	288,932	919,000	△ 3,912	
経常損益			△ 106,271	19,580	125,851	5,000	14,580
純損益			△ 102,434	197,570	300,004	201,000	△ 3,430
損益勘定留保資金等			△ 2,617	295,420	298,037	274,000	21,420
小計			△ 105,051	492,990	598,041	475,000	17,990
資本的収入			29,250	8,376	△ 20,874	9,000	△ 624
（うち一般会計繰入金）			(7,250)	(8,376)	(1,126)	(9,000)	(△ 624)
資本的支出			37,205	16,741	△ 20,464	17,000	△ 259
資本的収支差引			△ 7,955	△ 8,365	△ 410	△ 8,000	△ 365
当年度資金過不足額a			△ 113,006	484,625	597,631	467,000	17,625
一般会計繰入金 合計			127,232	715,204	587,972	704,000	11,204
うち特殊な繰入金 b				541,261	541,261	530,000	11,261
a-b			△ 113,006	△ 56,636	56,370	△ 63,000	6,364

④ 3病院合計

3病院の合計では、当年度資金過不足額が5億2,804万1千円の黒字となりましたが、これは、一般会計から15億9,716万5千円の特殊な繰入があったことによるもので、特殊な繰入を除くと10億6,912万4千円のマイナスとなりますが、対前年度比では1,928万2千円のプラス、改革プランに対しては2億2,887万6千円のプラスとなっています。

なお、参考として、過去5か年の単年度資金過不足額の推移を記載しています。

(単位：千円)

科目		H27決算A	H28決算見込B	差引B-A	H28改革プランC	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	12,131,664	11,682,372	△ 449,292	11,854,000	△ 171,628
	外来収益	4,567,871	4,263,972	△ 303,899	4,496,000	△ 232,028
	その他	236,873	234,472	△ 2,401	266,000	△ 31,528
	一般会計繰入金	344,561	384,735	40,174	389,000	△ 4,265
	医業外収益 (うち一般会計繰入金)	2,490,066 (1,167,511)	2,667,953 (1,275,616)	177,887 (108,105)	2,686,000 (1,272,000)	△ 18,047 (3,616)
特別利益 (うち一般会計繰入金) (うち減損損失対応分)	219,626	2,148,918 (1,490,890) (381,313)	1,929,292 (1,490,890) (381,313)	2,121,000	27,918 (1,490,890) (381,313)	
計	19,990,661	21,382,422	1,391,761	21,812,000	△ 429,578	
費用	医業費用					
	給与費	8,339,794	8,366,855	27,061	8,532,000	△ 165,145
	材料費	5,726,560	5,183,054	△ 543,506	5,517,000	△ 333,946
	経費	3,940,027	3,829,780	△ 110,247	4,069,000	△ 239,220
	その他	1,567,411	1,745,624	178,213	1,738,000	7,624
	医業外・学院・予備費	1,314,492	1,268,061	△ 46,431	1,290,000	△ 21,939
特別損失 (うち減損損失)	10,574	7,812,090 7,811,947	7,801,516 7,811,947	7,219,000	593,090 7,811,947	
計	20,898,858	28,205,464	7,306,606	28,365,000	△ 159,536	
経常損益	△ 1,117,249	△ 1,159,870	△ 42,621	△ 1,455,000	295,130	
純損益	△ 908,197	△ 6,823,042	△ 5,914,845	△ 6,553,000	△ 270,042	
損益勘定留保資金等	566,880	8,213,003	7,646,123	7,728,000	485,003	
小計	△ 341,317	1,389,961	1,731,278	1,175,000	214,961	
資本的収入 (うち一般会計繰入金)	2,560,506 (882,756)	1,057,144 (1,022,394)	△ 1,503,362 (139,638)	1,030,000 (1,023,000)	27,144 (△ 606)	
資本的支出	3,307,595	1,919,064	△ 1,388,531	1,912,000	7,064	
資本的収支差引	△ 747,089	△ 861,920	△ 114,831	△ 882,000	20,080	
当年度資金過不足額a	△ 1,088,406	528,041	1,616,447	293,000	235,041	
一般会計繰入金 合計	2,394,828	4,173,635	1,778,807	4,175,000	△ 1,365	
うち特殊な繰入金 b		1,597,165	1,597,165		1,597,165	
a-b	△ 1,088,406	△ 1,069,124	19,282	△ 1,298,000	228,876	

単年度資金過不足額の推移

(単位：千円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
函館病院	487,868	301,468	△ 832,589	△ 902,526	△ 336,631
恵山病院	△ 28,399	13,260	△ 13,357	△ 72,874	380,047
南茅部病院	△ 26,204	△ 11,484	△ 105,740	△ 113,005	484,625
3病院合計	433,265	303,244	△ 951,686	△ 1,088,405	528,041

2 主な経営指標等

① 経営指標に係る数値目標と実績

(単位：%)

区分	函館病院		恵山病院		南茅部病院	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
H26	95.1	89.6	104.3	79.0	89.8	70.7
H27	95.1	89.6	91.4	72.3	83.0	67.6
H28目標	92.8	86.7	93.9	69.8	100.8	71.6
H28実績	94.0	87.8	94.2	70.3	103.2	70.9

(参考) 同規模病院の全国平均値 (平成26年度)

	500床以上の病院		不採算地区病院で 50床以上100床未満	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
民間病院	100.4	99.4	—	—
公的病院 (自治体以外)	99.1	99.3	—	—
公立病院 (黒字)	102.7	97.5	104.6	80.1
公立病院 (上位1/2)	103.6	99.0	103.3	80.0
公立病院 (全体)	101.1	95.6	98.3	78.1

※ 各指標の算式 (消費税抜き)

1. 経常収支比率

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益 (医業収益 + 医業外収益)}}{\text{経常費用 (医業費用 + 医業外費用)}} \times 100$$

2. 医業収支比率

$$\text{医業収支比率} = \frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

② 医療機能等指標に係る数値目標と実績

□ 函館病院

項目	目標値	H27実績	H28実績
院内がん登録件数（※）	1,500件以上	1,191件	（見込）1,072件
救急車受入件数（ヘリ含む）	5,000件以上	4,956件	5,475件
手術件数	3,000件以上	2,953件	2,966件
分娩件数	200件以上	17件	67件
他病院への医師派遣	年間延べ200日以上	129日	107日

※院内がん登録件数については1月～12月の暦年で表示。H28は集計中のため見込数値。

□ 恵山病院

項目	目標値	H27実績	H28実績
入院患者のうち、医療区分2,3（※）の割合	80%以上を維持	84.7%	87.2%
救急患者受入人数	300人以上を維持	359人	318人
入院透析患者数	11人	10.8人	7.6人
外来透析患者数	5人	4.7人	8.4人
地域ケア会議の開催	年12回開催を維持	年12回開催	年12回開催

※人工呼吸器や人工透析等を必要とする、慢性期の中でも医療の必要度が高い患者

□ 南茅部病院

項目	目標値	H27実績	H28実績
救急患者受入人数	300人以上を維持	316人	316人
地域ケア会議の開催	年12回開催	H28から参加	年7回開催
地域との懇談会等の開催	年8回開催	H28から開催	年4回開催

Ⅱ 過去5か年の経営実績

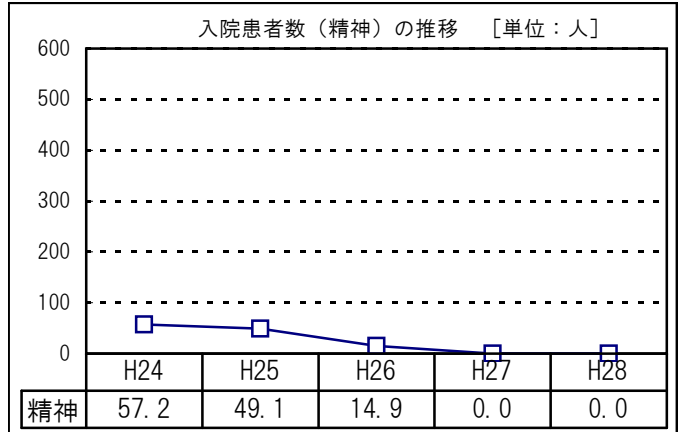
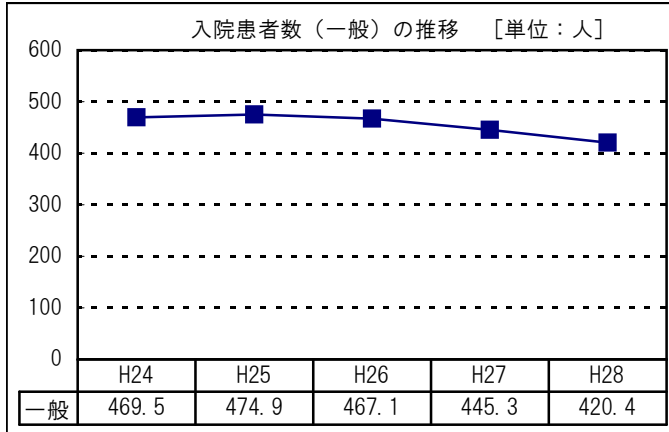
1 医業収益（函館病院）

28年度の1日平均入院患者数は、一般では入院件数が減少したこと、および、平均在院日数も短縮されたことから、420.4人で27年度445.3人に対し24.9人の減となっています。精神は医師減により休床となっています。

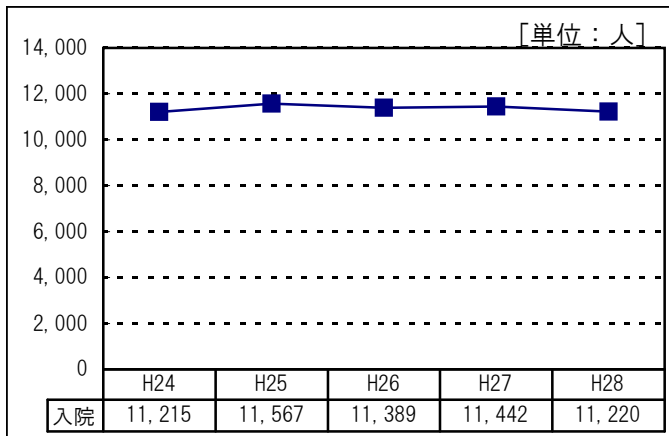
なお、新規入院患者数は11,220人で27年度11,442人に対し222人の減となっており、年間平均在院日数は12.7日で27年度13.2日に対し0.5日の減となっています。

28年度の入院患者1人あたり診療単価は、72,356.5円で27年度70,607.4円に対し1,749.1円の増となっています。

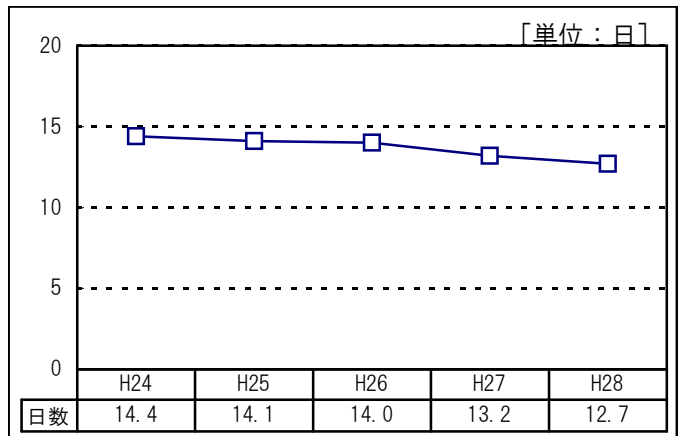
□ 入院患者数（1日平均）



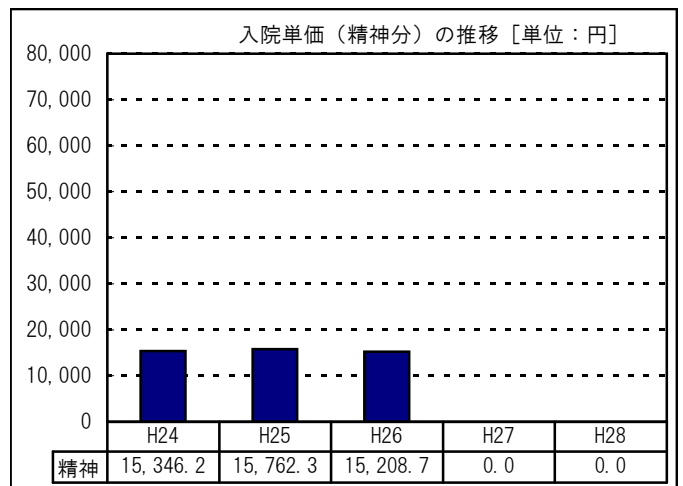
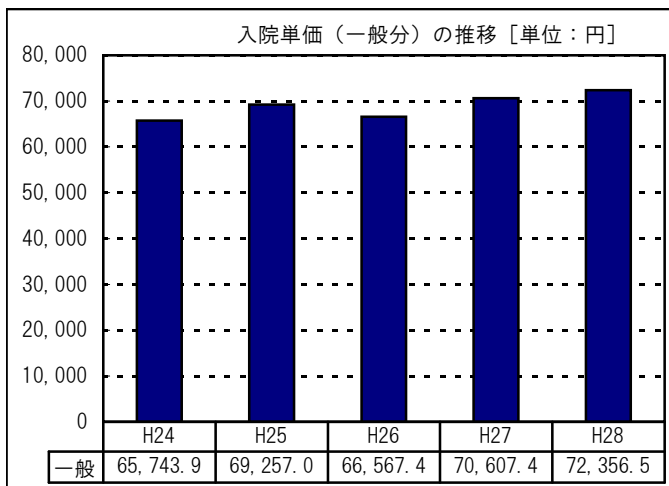
・ 新規入院患者数



・ 年間平均在院日数（一般）



□ 患者1人あたり入院診療単価

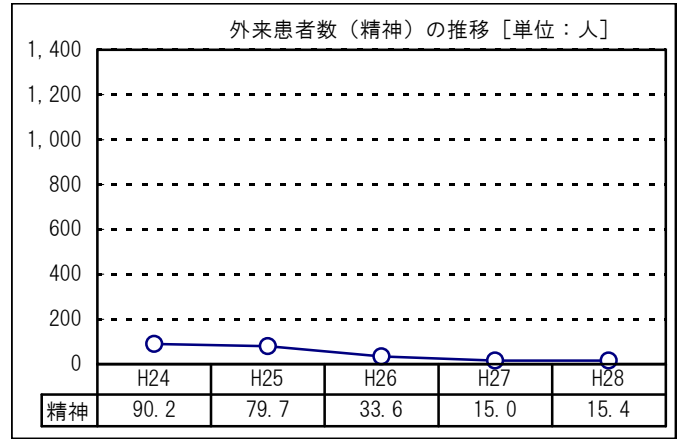
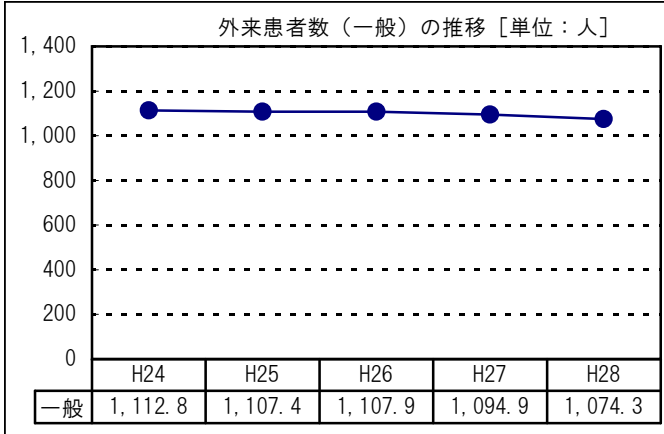


外来患者数は、1日平均、一般1,074.3人で27年度1,094.9人に対し20.6人の減、精神は15.4人で27年度15.0人に対し0.4人の増となっています。

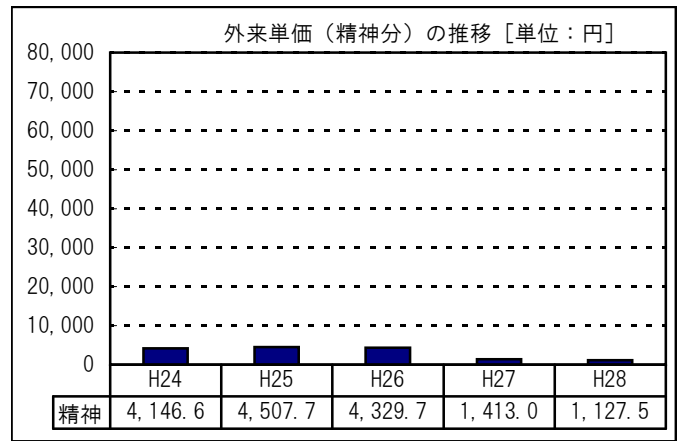
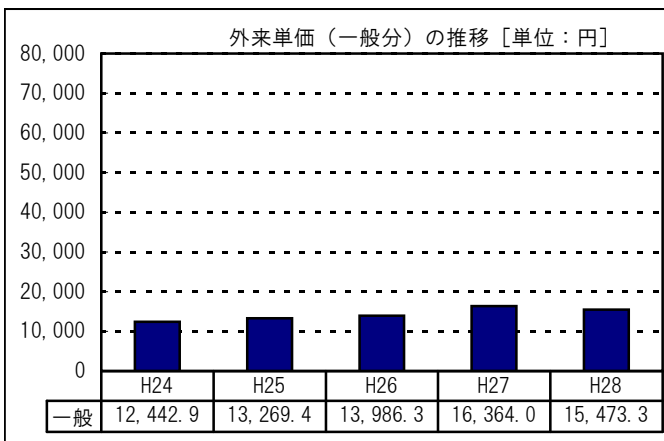
外来患者1人あたり診療単価は、一般で15,473.3円で27年度16,364.0円に対し890.7円の減、精神は1,127.5円で27年度1,413.0円に対し285.5円の減となっています。

また、救急患者を除いた患者紹介率は40.5%で27年度37.4%に対し3.1%の増、逆紹介率は68.9%で27年度59.7%に対し9.2%の増となっています。

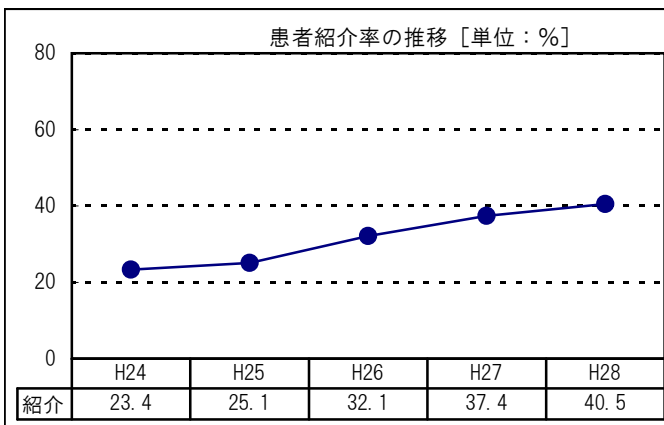
□ 外来患者数（1日平均）



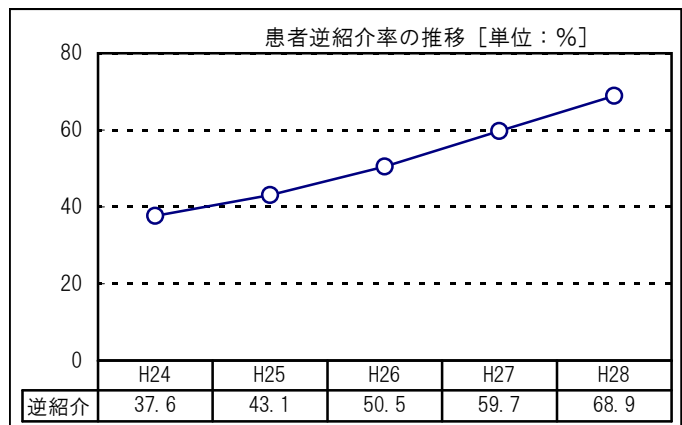
□ 患者1人あたり外来診療単価



□ 患者紹介率（救急患者を除く）



□ 患者逆紹介率

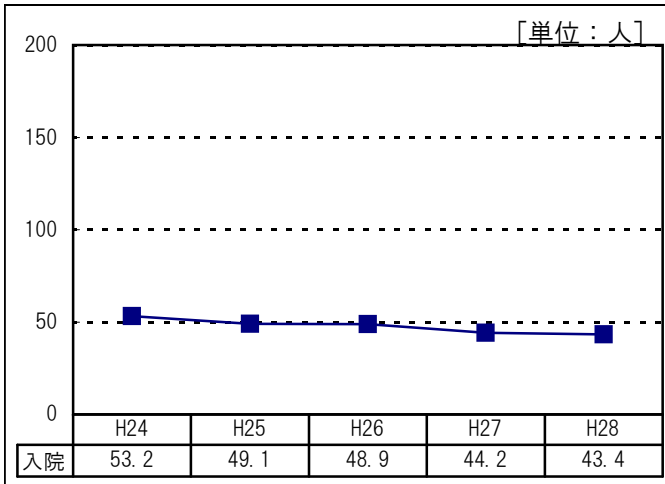


2 医業収益（恵山病院）

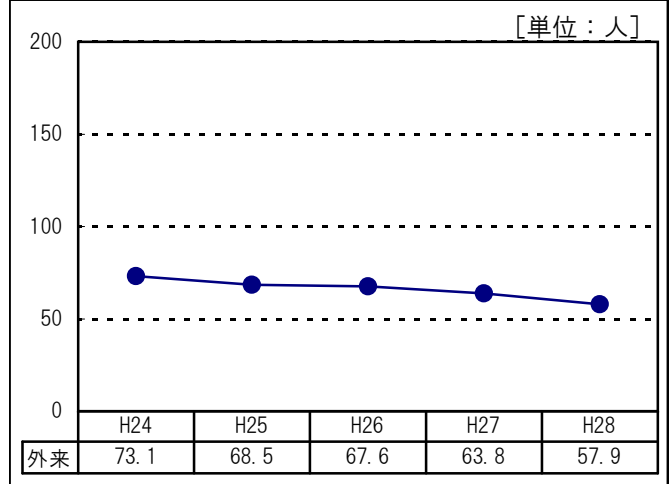
28年度の1日平均入院患者数は43.4人で27年度44.2人に対し0.8人の減、外来患者数は、1日平均57.9人で27年度63.8人に対し5.9人の減となっています。

28年度の入院患者1人あたり診療単価は、20,658.3円で27年度22,220.2円に対し1,561.9円の減、外来患者1人あたり診療単価は、7,237.9円で27年度5,755.2円に対し1,482.7円の増となっています。

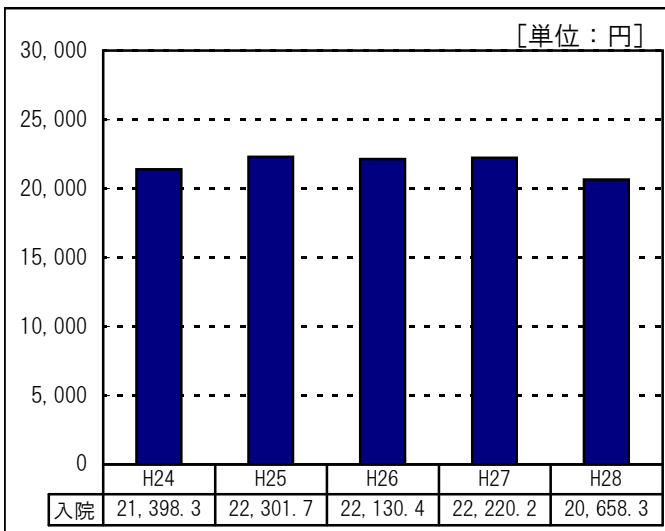
□ 入院患者数（1日平均）



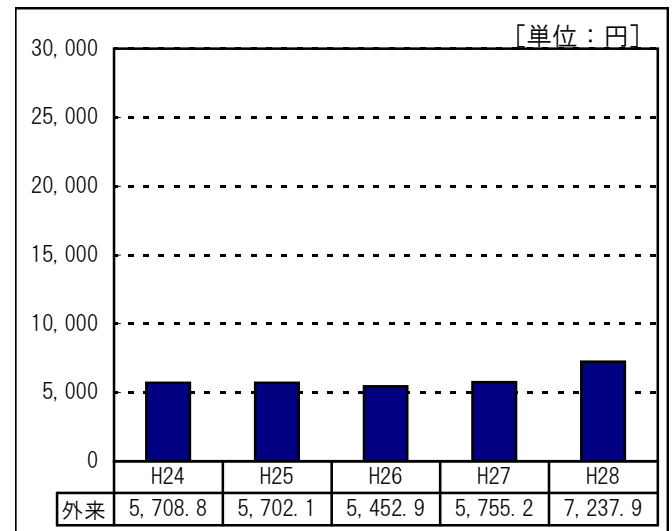
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



3 医業収益（南茅部病院）

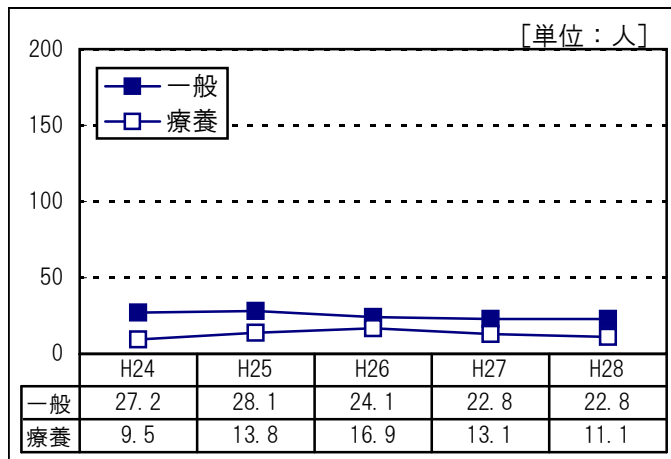
28年度の1日平均入院患者数は、一般22.8人で27年度22.8人に対し増減はなく、療養11.1人で27年度13.1人に対し2.0人の減となっています。

また、外来患者数は1日平均93.5人で27年度90.5人に対し3.0人の増となっています。

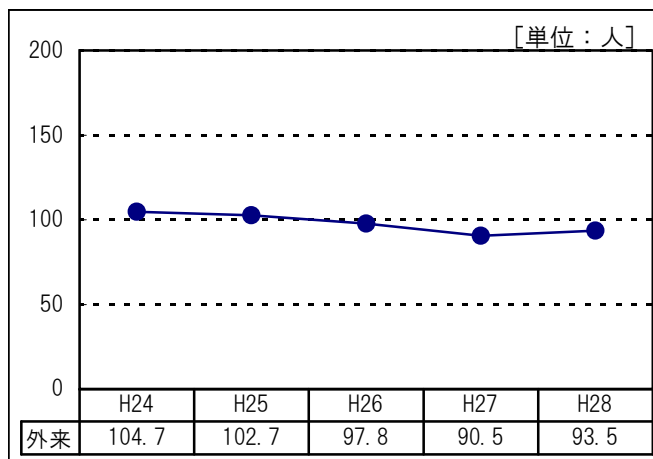
28年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で26,527.2円で27年度27,142.4円に対し615.2円の減、療養は7,892.9円で27年度7,865.2円に対し27.7円の増となっています。

また、外来患者1人あたり診療単価は、5,242.8円で27年度5,445.8円に対し203.0円の減となっています。

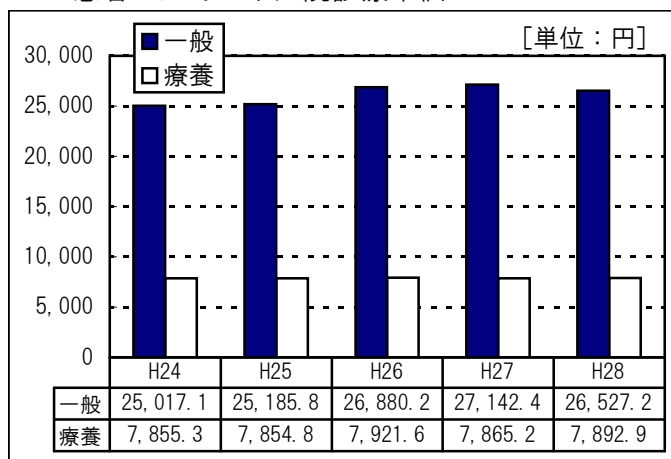
□ 入院患者数（1日平均）



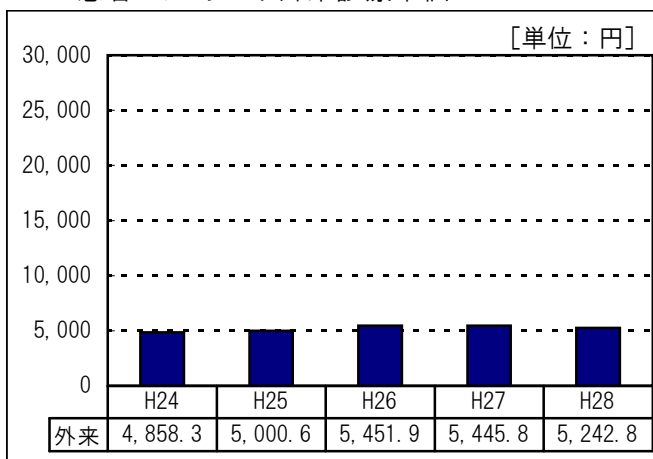
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



4 未収金の状況

函館病院では、未収金対策に取り組んでまいりました。

特に新規滞納を発生させないための取り組みとして、19年度から入院時説明コーナーの開設や夜間救急の即日徴収、休日退院の事前精算等の実施、納付相談の強化などを行っており、20年度にはクレジットカード納付の導入、22年度にはコンビニ納付を導入しています。また、未納者に対しては、内容証明郵便の送付や支払督促申立てを行っており、24年度から債権差押命令の申立て、27年度から未収金回収業務の弁護士への委託も行いました。

函館病院の28年度の未収額は、130,031千円で27年度150,599千円に対し20,568千円の減となっています。なお回収不能な未収金7,584千円については不納欠損処分を行いました。

恵山病院の28年度の未収額は、1,686千円で27年度2,144千円に対し458千円の減となっています。なお回収不能な未収金9千円については不納欠損処分を行いました。

南茅部病院の28年度の未収額は、2,283千円で27年度3,886千円に対し1,603千円の減となっています。なお回収不能な未収金590千円については不納欠損処分を行いました。

また、会計基準の変更に伴い26年度から貸倒引当金を計上していますが、発生から3年を超過したものについては全額を引当額とし、発生から3年以内の債権については、貸倒実績率の過去3か年の平均により引当額を決定しています。

[単位：千円]

区分		H24	H25	H26	H27	H28
未 収 額	函館病院	279,653	222,294	144,299	150,599	130,031
	恵山病院	2,114	1,510	1,969	2,144	1,686
	南茅部病院	3,229	3,452	3,950	3,886	2,283
	3病院合計	284,996	227,256	150,218	156,629	134,000
貸 倒 引 当 額	函館病院			△ 53,164	△ 43,749	△ 42,947
	恵山病院			△ 776	△ 787	△ 525
	南茅部病院			△ 317	△ 359	△ 412
	3病院合計			△ 54,257	△ 44,895	△ 43,884

5 医業収益に対する材料費の割合

市立函館病院のジェネリック医薬品の採用率は、28年度 品目数ベースで78.7%となっており、27年度の70.6%に対し8.1%上回っています。

薬品費全体では、27年度に保険適用となった肝炎の治療薬について、対象患者の減少や薬価引き下げにより購入価格が減となったことなどから、対前年比 6億2,612万3千円減の 33億1,428万3千円（うち肝炎治療薬4億2,424万1千円減）となっており、診療材料は対前年比 5,142万4千円増の 20億2,786万1千円となっています。

なお、医業収益は入院・外来収益の合計で 7億2,103万円の減となり、材料費が医業収益に占める割合は27年度に対して2.02%の減の35.27%となっています（新規肝炎治療薬を除いた場合34.6%）。

【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数 ÷ 使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数 × 100

H27.3月末現在
66.4%



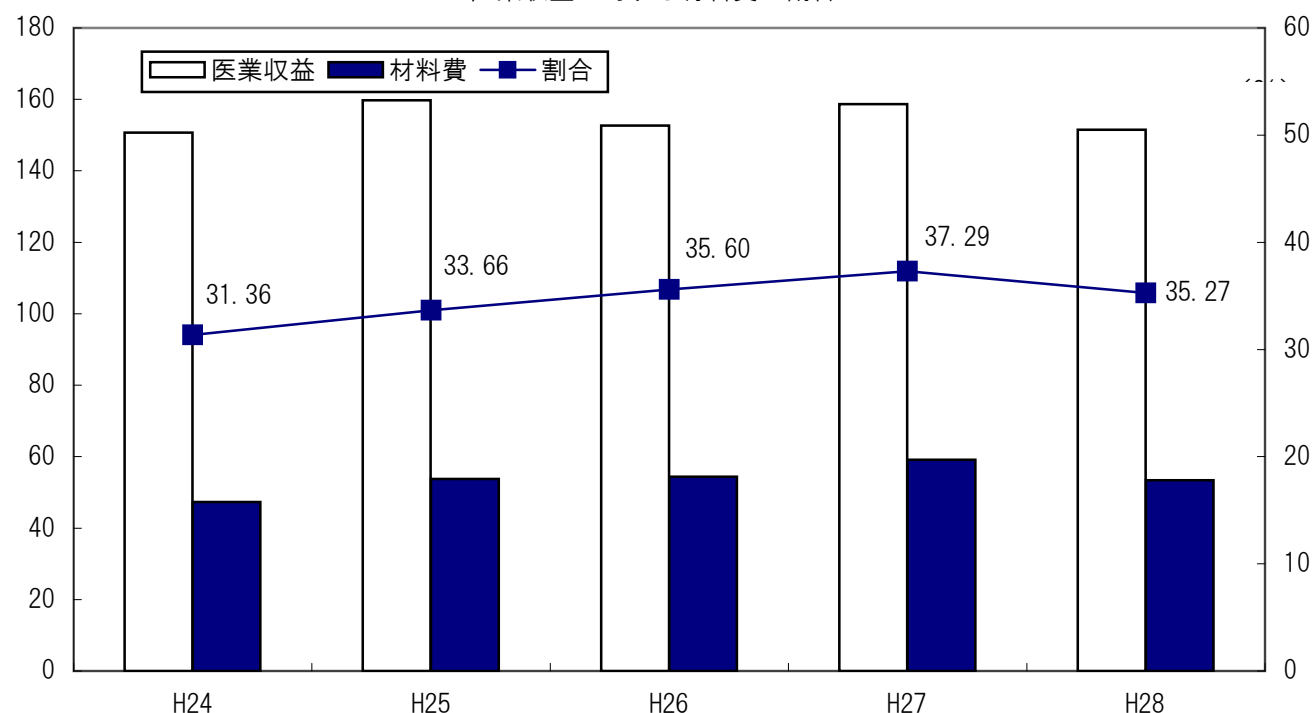
H28.3月末現在
70.6%



H29.3月末現在
78.7%

(億円)

医業収益に対する材料費の割合



[単位：千円]

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H28-H27
入院収益	11,587,324	12,287,290	11,432,820	11,508,857	11,103,392	-405,465
外来収益	3,483,936	3,688,070	3,831,964	4,359,117	4,043,552	-315,565
計 A	15,071,260	15,975,360	15,264,784	15,867,974	15,146,944	-721,030
薬品費	2,854,780	3,363,743	3,468,636	3,940,406	3,314,283	-626,123
診療材料費	1,872,274	2,014,089	1,965,945	1,976,437	2,027,861	51,424
計 B	4,727,054	5,377,832	5,434,581	5,916,843	5,342,144	-574,699
B ÷ A × 100	31.36%	33.66%	35.60%	37.29%	35.27%	-2.02%

※消費税込みの額で算出しているため1ページの数値とは一致しません。

Ⅲ (新) 改革プラン収支計画との比較

1 収支計画と実績の比較

□ 資金過不足額

(単位：百万円)

区 分		H28	H29	H30	H31	H32	
函館病院	単年度	計画	△ 535	△ 1,177	△ 180	△ 19	103
		実績	△ 336				
	累積	計画	△ 1,749	△ 2,926	△ 3,106	△ 3,125	△ 3,022
		実績	△ 1,550				
恵山病院	単年度	計画	361	△ 30	0	0	0
		実績	380				
	累積	計画	30	0	0	0	0
		実績	49				
南茅部病院	単年度	計画	467	△ 19	0	0	0
		実績	484				
	累積	計画	19	0	0	0	0
		実績	36				
合計	単年度	計画	293	△ 1,226	△ 180	△ 19	103
		実績	528				
	累積	計画	△ 1,700	△ 2,926	△ 3,106	△ 3,125	△ 3,022
		実績	△ 1,465				

□ 資金不足比率

(単位：%)

区 分	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	9.9	15.9	16.4	16.4	15.9
実 績	8.8				

□ 一般会計繰入金

(単位：百万円)

区 分	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	4,175	2,874	2,889	2,716	2,570
実 績	4,174				